



答弁中の中嶋町長

地域活性化センターの使用見直しは

開放していききたい

問

地域活性化の拠点として利用しにくいとの声があがっています。お酒の制限をなくし敬老会等の使用を可能に。オイコスは須恵の一等地にあり、交通の便もよく、利益を生む可能性を秘めた施設です。営利目的の販売等は禁止されていますが、展示会・イベント・販売や喫茶の営業等に貸すなどで利益を得、指定

管理者制度へ移行の方向性は。ピアノ等の演奏会を行う等もっと町民が集い、憩える場所にする為、以前のボランティアセンターからの脱却が必要では。

オイコスをどのような位置づけでとらえていますか。将来を見据えて、運営の見直し等についてお尋ねいたします。

答 中嶋町長



今村 桂子 議員

町で独自に建設した施設については、若干の条例改正も必要かと思いますが、販売等についても開放していかうと思っております。オイコス内の酒の提供については、条例の改正をすることなくできますので、土日の利用時には極



利用を待つオイコス

力開放して敬老会等に利用して頂きたいと考えています。いずれにしても、今、管理頂いている施設委員会と十分協議しながら運営していきま

等の提供については、個人あるいは団体等で申し出・要望があれば極力開放していきたいと思います。アザレアホールにしても、オイコスにしても、開放していくという基本的な考えを持っていきますので、いつでも誰でも気軽に使える空間、あるいは開かれた空間として今後販売も含めて開放していきま

地域活性化のためにシルバー人材センターの活用を

全面的に支援

問

地域を活性化するうえにおいて必要なのは①暮らしやすさ②高齢者の活用③地域特産物の取り組みだと思えます。その中でも高齢者の方々の知識や経験・技能を活かし、地域の活性化につなげることは必要であると考えます。内閣府の調査では65歳以降も働きたいという人が7割に達することでした。須恵

町としての対応はどう考えているかお尋ねします。

須恵町には、すでにシルバー人材センターがありますが、シルバー人材センターの必要性についてどうお考えですか。今後はより一層の充実が求められるのではないかと思います。町としての対応はどうお考えですか。

答 中嶋町長



百田 輝子 議員

健康で働く意欲のある高齢者の方々の豊富な社会経験、あるいは長年にわたって培ってこられた優れた技能を活用した事業展開を行うため平成21年に専任の職員を雇用して、一般社団法人という法人格を取得しました。将来的に

健康で働く意欲のある高齢者の方々の豊富な社会経験、あるいは長年にわたって培ってこられた優れた技能を活用した事業展開を行うため平成21年に専任の職員を雇用して、一般社団法人という法人格を取得しました。将来的に

公益法人に移行するかしないか現在検討中です。

自主・自立・共働・共助のもとに会員自身が運営して、助け合いながらみんなで働く、福祉の受け手ではなく福祉の担い手として活躍して頂き、働くことにより健康を維持したり、あるいは健康やかな高齢期を迎えて頂くのが基本理念です。ゆくゆくは健康保険

医療費や介護保険料の軽減につながればというのが、目的の中にあります。

茅の会、杖の会から法人格のシルバー人材センターに移行し、町から補助金も出しております。まだ知らない方も多いようですので、行政の責任として宣伝を行い、全面的に支援していきます。



シルバー人材センター会員による作業の様子